

スポーツ用品の大手グローバル製造業者、 Aryaka SmartSecure Private Accessで ハイブリッドワークスペースを実現し、 生産性を向上



私たちの仕事の仕方は進化しています。近年、知識労働者は以前よりも頻繁に、より多くの作業をリモートで行っており、IT組織ではユーザーの場所に関係なく、ネットワークインフラストラクチャの安全性、柔軟性、信頼性の確保が求められています。新型コロナウイルス感染症によって、前代未聞の数の労働者が在宅勤務となりました。これによりIT組織は、新しいハイブリッドワークプレイスに対応する長期的なソリューションの実装と加速というさらなる課題に直面しました。

課題

米国の大手スポーツ用品製造会社は、パンデミックのために多くの従業員が在宅勤務となり、ビジネスが中断され、従業員の生産性に影響が出るリモートアクセスソリューションを改善する必要があった組織の1つです。製造は中国、在庫管理と設計は米国、開発とエンジニアリングはヨーロッパ、アジア、北米に及んでおり、IT組織では、世界中の従業員の間でシームレスなコラボレーションを実現し、生産性とビジネス継続性を確保する必要がありました。

ソリューション

同社はすでにWANに移行済みで、Aryaka SmartServicesを活用して世界中の全オフィスへのアプリケーションパフォーマンスを加速させていました。6大陸に拠点を置くグローバル企業として、組織のITチームは無駄がなく効率的であり続けており、同社の戦略は、できる限りマネージドサービスを採用することです。Aryaka SmartServicesはこの哲学にうまく適合しており、同社のITチームは日常のネットワーク管理から離れて、業務上の優先事項のサポートに尽力できるようになりました。同社はこの戦略をリモートアクセスソリューションに拡張したいと考えていました。

同社は、フルマネージドVPNソリューションであるAryaka SmartSecure Private Accessを導入することで、リモートユーザーのアプリケーションパフォーマンスを加速するソリューションを迅速に導入できると同時に、ハードウェアの管理にDIYアプローチを必要とするレガシーVPNソリューションの実装を回避できるようになりました。

オンプレミスアプリケーションへのアクセスを提供し、エンタープライズネットワークを通じてユーザーのトラフィックをバックホールしてクラウドアプリケーションにアクセスするために最適化された従来のVPNソリューションとは異なり、Aryaka SmartSecure Private Accessではグローバルプライベートレイヤー2コアネットワークを活用します。このネットワークは、クラウドファーストを念頭に最適なアプリケーションパフォーマンスを実現するために構築されています。また、クラウドアプリケーションに効果的なオンランプを提供できますが、中断したり、信頼性の低いパフォーマンスで知られるクラウド中心のリモートアクセスソリューションとは異なり、Aryaka SmartSecure Private Accessでは信頼できる優れたエンドユーザーエクスペリエンスを実現します。

Aryka SmartSecure Private Access導入後、同社は世界中のリモートワーカーに同等の接続性を提供し、ビジネス継続性を確保できるようになりました。

Arykaを使用した結果



グローバルVPNパフォーマンス

加速

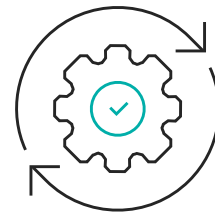


リモートユーザー

セキュリティ向上



素早い
導入



業務上の複雑性

低減